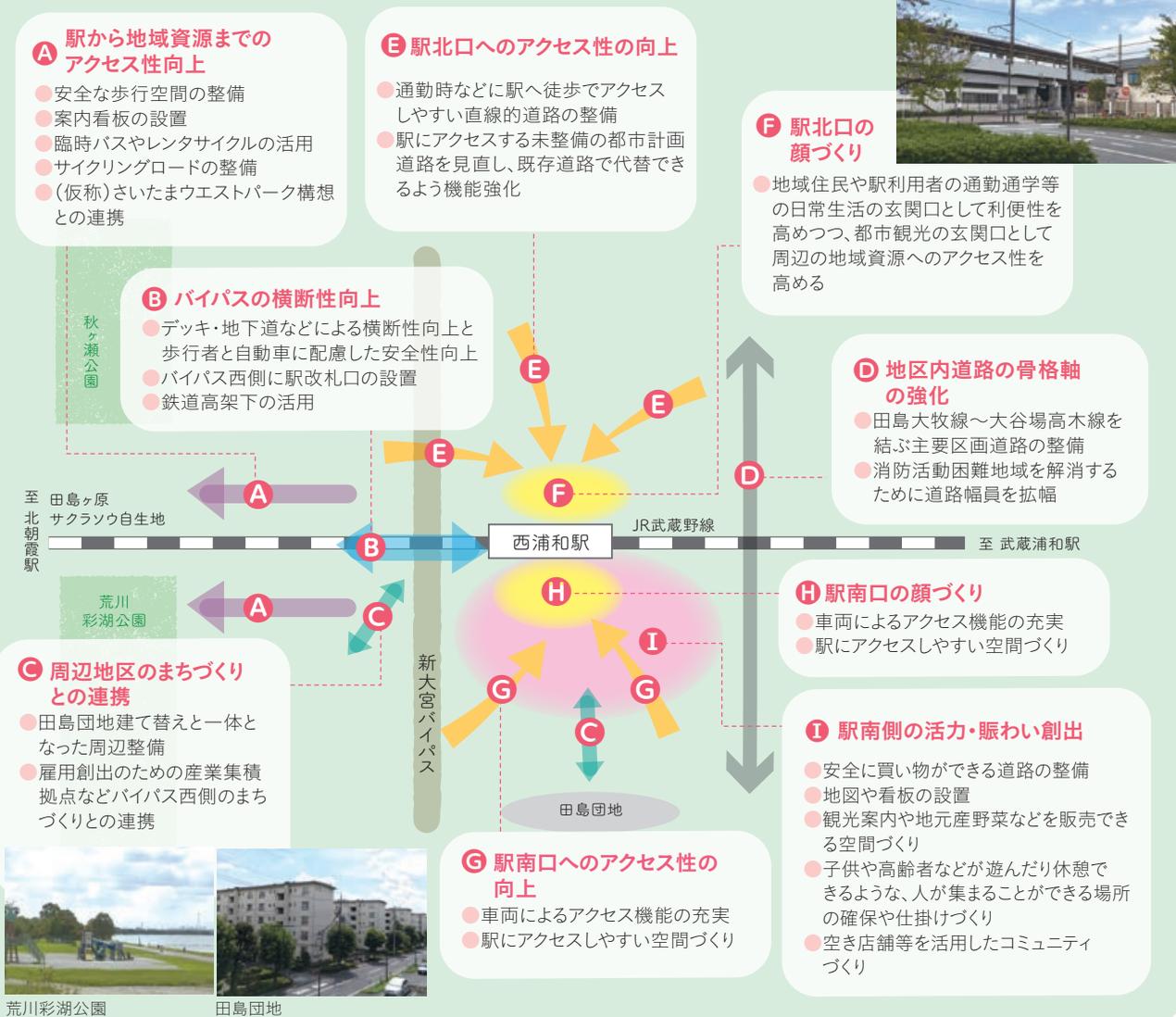


# 夢あふれる街「西浦和」まちづくり憲章草案

1. **自然の恵みと共に**  
荒川へのアクセス拠点として  
荒川ぞいの自然の恵みを  
活かすまち
2. **拠点性や発信性**  
ゆとりや潤いの中に  
産業・文化の  
創造と活気が溢れるまち
3. **多様な交わりと和**  
利便な立地を活かした交流が  
資源となるまち
4. **参画・参加機会の創出**  
あらゆる世代が活躍でき  
地域を豊かにするまち
5. **アイデンティティ・シンボルの  
さくら草・獅子舞**  
桜区の顔となる個性的で  
たおやかな景観のまち
6. **安心・安全なまち**  
防災や防犯に気を配れるまち

## 西浦和駅周辺まちづくりビジョン(市民案)※

西浦和駅北口ロータリー



※掲載内容は西浦和駅周辺まちづくりビジョン(市民案)を発行元で簡略化したものです。

# 西浦和

西浦和駅東西地区  
まちづくり協議会



## ワークショップを実施 アイデアや意見をまちづくりに 反映

西浦和第一地区は、土地区画整理事業施行区域として都市計画決定されましたが、40年以上にわたり事業化できない状況にあります。その結果、道路や公園など生活の基盤が一部未整備のまま、市街化が進んでまいりました。

そうした問題の改善、安全性の確保に向け、平成28年3月に自治会・商店会・NPOなどが中心となり、「西浦和駅東西地区まちづくり協議会」を設立しました。再開発が進んでいる地域への視察やワークショップ

市民や専門家との意見交換で  
見えた課題と将来像



西浦和駅東西地区まちづくり協議会  
会長 押切 勇さん

子どもの頃から田島地区に住んでいます。昔は農村地帯で田島全体の住宅は100軒ほどでしたが、今では1万軒を超える住宅地へと様変わりしました。それでも昔からの豊かな自然が残っているのが魅力だと思っています。秋ヶ瀬公園や桜草公園などの観光資源をしっかりと活かしていきたいですね。

昨年からは協議会が主体となり、サクラソウの開花時期に合わせた『さくら草姫まつり』や、『田島ハロウィンフェス』など地域の活性化につながるイベントの開催にも取り組んでいます。楽しそうな子どもたちの姿にこちらまで元気が出ました。

まちづくりビジョン(市民案)では、田島地区周辺のまちづくりとの連携や駅南口の顔づくりなどを盛り込んでいます。

市民一体となって  
夢あふれる街「西浦和」の実現へ

の開催、まちづくり専門家も交えた意見交換を重ね、さいたま市の支援のもと、まちづくりビジョン(市民案)を作成しました。

明るいまちをつくるには何が必要か、とても勉強になりました。



上/「田島ハロウィンフェス」の様子。  
予想を上回る1000人の方が参加。子どもから大人まで仮装し、ふれあいを楽しみました。今年は11月3日(土)開催予定です。



下/アイデンティティ・シンボル  
「田島の獅子舞」の様子

今後は協議会で作成した「まちづくりビジョン(市民案)」をもとに「まちづくり方針」をさいたま市と協働で検討していきます。

引き続き夢あふれる街「西浦和」の実現に向けて取り組んでいきます。

## 市民協働の まちづくり

安全性と新たな活気を  
地元まちづくり団体が作成した  
西浦和駅周辺の  
「まちづくりビジョン(市民案)」

西浦和駅周辺の問題点と向き合い住民主導でまちづくりをスタートさせた「西浦和駅東西地区まちづくり協議会」。昨年作成した「まちづくりビジョン(市民案)」の内容や、今後の展望などを伺いました。